



一般質問する高見澤議員

11月定例会  
一般質問

メリットを生かすためにも  
指定管理者制度の検証が必要

一般質問の全文は、高見澤敬光  
県議のホームページでご覧にな  
れます。  
ホームページ  
http://www.toshimitsu.jp/

長野県では、利用者のニーズに柔軟な発想で対応すること、より質の高いサービスの提供が期待できます。また、民間事業者のノウハウを活用し、高率な施設運営を行うことで、管理運営経費の縮減が期待されるなどとして、指定管理者制度を導入し、制度のメリットが期待されています。

これらのメリットは一定の成果は出ているものの、その制度の課題も新たに見え始めています。指定管理者との契約が更新の時期を迎えている今こそ、このメリットをより生かし本来の目的を達成するために、今後に向けてこの制度の検証が必要と考えますと、高見澤県議は村井知事、総務部長に質問しました。

Q 指定管理料の削減はサービスの質を落とす

高見澤県議 県財政の悪化を理由にした一方的な指定管理料の削減要求があるとしたら、結果として、指定管理者は人件費を削り、安全のコストを削り、サービスの低下や事故のリスクが高まっています。この制度の趣旨でもある民間の活力、斬新なアイデアを生かすことができないことになり、管理費のほとんどが人件費だけに、その減額の根拠と理由を明確にするためにも、一定の積算基準

A 一律な基準は難しい

総務部長 導入施設は多岐にわたっており、施設の性質や規模、利用形態が異なり一律な基準を提供することは難しいです。施設管理の積算には、施設のサービスの提供、収支や施設全体の運営状況を考慮して決めていきます。年度協定の時期は指定管理料を定めている関係で、当初予算の成立

Q 計画変更の緩和策を

高見澤県議 年度途中での新たな企画は民間なればこそ、短期間で迅速な決断ができてほしいとありますが、県に改めて計画書を提出し承認を得るまで時間がかかり、イベント等のタイムミスを逸してしまう場合があります。単なる管理者が利益

A 迅速な対応をしたい

総務部長 公の施設を適正に管理していただくために、施設管理の把握は必要です。益を目的とするだけでなく、県民の利便性、学習文化の向上にもつながる問題でありますので、素早い対応が求められています。年度途中におけるイベント等の計画変更の際に、迅速な対応ができるよう計画書の提出等の緩和策を設けるべきか、というかがでしょうか。

県は  
見直しの努力を  
中途計画等につぎまして、施設設置者として、一定の規制をすることとは理解できますが、民間のスピード感ある斬新的な企画等を十分生かすためにも、計画見直し等の緩和策を早急に検討され、利用者ニーズに柔軟な発想で対応することで、より質の高いサービスの提供が期待できるなど、本来の指定管理者制度に求められているメリットなどを生かすために、県として更に見直しの努力をするべきと、高見澤県議は強く要望しました。

将来見込まなければならぬ将来負担額の把握は

地方自治体の財政破綻を早い段階で防止することを目的として、平成19年6月に地方自治体財政健全化法が成立されました。この法律は国がチェックできるというよりも、地方自治体自らが健全な財政を把握する上においても重要であります。今こそ、表に現われる指標のみでなく、隠れた数値、いわゆる

Q 来年度予算に  
どう反映させるのか

高見澤県議 知りえた実質

A 1兆9千億円を  
超える

総務部長 平成20年度決算

将来負担額と直近の財務諸表に基づき、どのように来年度予算編成に活用しているのか、また、中期総合計画等に、これらの数値を反映させていくべきと思うが、いかがでしょうか。

村井知事 長野県にとって今必要なことは何か、また、将来の長野県のために大切なことは何かを吟味し、国の動向や足元の経済情勢等を的確に把握しながら、財政健全化に取り組むとともに、県民生活と県内経済の安定・向上を図り、あわせ

高見澤県議は、県民が安心して産業経済活動や生活が営めるよう、隠れているだけでなく、隠れて見えていない「予測される実質将来負担額」を適切に把握し、将来に付けをまわさない県財政運営に努められ、「22年度予算」の編成にあたっていただきたいと指摘して質問を終わりました。

写真が語る高見澤県議の活動



10月26日～27日、東京ドームシティ・プリズムホールで、環境と健康をキーワードに「信州まるごと産業フェア」が開催され実施状況を調査。



10月20日南相木村奥三川溪谷周辺で「佐久地区森林祭」が開催され、育樹・除伐作業など行われ、記念標識を設置し、みどりの少年団と記念撮影。

1面でも紹介していますが、11月21日小海町総合センターで「創志会と語る in 南佐久」が開催されました。公務で欠席の高橋副議長を除いて全員が参加して行われました。参加された南牧村の議員さんから「大変勉強になりました」と創志会に感想を寄せいただきました。



10月20日南相木村奥三川溪谷周辺で「佐久地区森林祭」が開催され、育樹・除伐作業など行われ、記念標識を設置し、みどりの少年団と記念撮影。